

















































































































ヒエン浜遺跡

ヒエン浜遺跡は、奄美諸島の他の遺跡と同様に、砂丘にある遺跡です。

この遺跡では兼久式土器という土器が発見されました。この土器は古墳時代頃から平安時代頃にかけて使われていた土器で甕や壺などの形をしています。その中でも甕の底には作られた時に敷いてあった木の葉の形が残っていたりするのが特長です。

また、この遺跡では堀立柱の建物の柱穴と思われるものも発見されていますので、ここに集落があった可能性もあります。その人達の生活の様子は、全体的な発掘調査が行われていまいせんから、はっきりとはわかりませんが、同じ時代の奄美諸島の遺跡では、貝塚があったり、網に使うおもり・つり針・もり等が見つかっています。おそらくこのヒエン浜遺跡の人達も、生活の糧を海に頼っていたのでしょう。

この遺跡は、私たち大和村の歴史の証人です。大事に守っていきましょう。

平成六年二月

大和村

奄美群島国定公園

特別地域

ヒエン浜

ごみ・あきかんは持ち帰り美しい自然
環境をいつまでも大切にしましょう。

鹿児島



































































































































